

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和6年 2月 1日

事業所名 放課後等デイサービス「たち」

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・施設内に外広場があり、身体を使って遊べ環境がよい	・身体が大きくなってくると、部屋のスペースが狭くなる為今後の課題となる。
	2	職員の配置数は適切である	○		・職種等偏りがないようにしている。 ・スタッフでコミュニケーションをとりながら支援している。	・パート職員が増えるとうい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・手すりやスロープなど設置している。 ・雨天時はスロープが滑りやすい為、日常から階段を使用するようにしている。	・広場からのスロープが金属の為雨天時は危険を感じる。 ・様々な事を想定した時に避難経路が乏しい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・定期的実施していると共に何かあれば、その都度会議を取り入れている。	・今後も日々見直しを行いながら、全員が参画できるように努めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・アンケート結果を職員で共有し、改善に取り組んでいる。 ・常に見直しを行い、改善すべき点があれば早急に取り組む。 ・日々の送迎時や保護者の方のコミュニケーションを密に行う事で些細な事も意向を伝えて頂けるよう関係作りを心掛けている。	・今後も日々保護者の方とコミュニケーションを図る事で意向を伝えて頂き、業務へ反映できるようにしていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ホームページでの公開と共に通所されている方へは、集計結果を個別に配布し、見て頂けるようにしている。	・昨年度の反省からの取り組みがいかがされている為、今後他の項目でも取り組み方を工夫していきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・外部評価を行ってはいないが、保護者の方からの評価は頂いている。	・今後必要があれば、法人全体を含めて検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・外部研修、内部研修等の参加をすると共に、個別の研修参加者は伝達研修を行っている。	・今後も必要な研修の機会を継続し質の向上につなげる。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・日常的に子どもの様子を話し合い、アセスメントを行い、情報共有しながら計画立案会議に反映している。	・今後も子どもさんのニーズと保護者の方のニーズを面談等で確認しながら、一人一人に合った計画を立てるようになっていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・ガイドラインのアセスメントツールに基づいて事業所独自で作成したアセスメント表を使用している。	・利用されている子どもさんの発達段階に応じて、アセスメント表に加える項目などを検討していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・担当を月の交代制で決めてはいるが、全員で利用児に合った活動を取り入れるようにしている。 ・毎回反省を確認し、次の活動に活かすようにしている。	・季節の行事や、子どもさんからの意見を反映しながら、活動プログラムを立案していきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・子どもの発達や障がい特性に配慮しながら、固定化しないようにしている。 ・季節に応じた活動や集団活動も発達段階等に合わせ取り入れたり、同じプログラムでもルール等少しずつステップアップしながら取り組んでいる。	・季節行事や買い物、外出レク等好評な活動を今後も継続して取り入れていく工夫をする。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・長期休暇や休日は平時に経験できない活動等を取り入れつつ、落ち着いた過ごせるようにきめ細やかな配慮をしている。	・今後も平日と休日、長期休暇に応じて時間や活動内容を子どもさんの意見を織り交ぜながら、検討し設定を工夫したい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・個別活動と集団活動の時間を取り入れそれぞれの発達に応じた計画作成をしている。	・今後も一人一人の発達に応じて、組み合わせた計画を作成をしていくようにしていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝・昼、夕方と全職員で打ち合せを行い、体調確認、送迎、欠席理由、申し送り事項等共通理解を行っている。	・今後も役割や支援内容を打ち合わせしながら、その日の学校からの伝達事項を踏まえ、状態に応じて臨機応援に役割分担をし、職員全員に行き届くようにする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・気づいた点や疑問点等振り返りを行っている。 ・勤務時間の関係で当日にできない場合は翌日の朝に共有するが、責任者には報告をするようにしている。	・振り返りでは、それぞれが発言しやすい雰囲気作りや疑問を持つ事を大事にし、共有に務めていきたい。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・体調面、情緒面、社会面等の項目において、事実や変化があった事等を記録する事に取組んでいる ・他職員の記録を確認することで、自分の記録や支援の振り返りにも繋げている。	・事実の記録を残すことや項目において記録することに取組んでいるが、今後も記録の取り方の着眼点等の勉強を職員で取り組みたい。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・半年に一度、成長が見られた場合や状態が変化した場合にははそれ未満でモニタリング会議を行っている。 ・スモールステップでの課題を設定する事で達成し、次のステップに進むように見直ししている。	・今後も成長に応じて適宜モニタリングを丁寧に 行っていきたい。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		・ガイドラインに則り、活動を行っている。	・今後も様々な活動(施設内活動・施設外活動含め) を組み合わせるよう努めたい。
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者が参加し、時間帯によっては他のスタッフも参加し、参加しなかったスタッフへも全員で共有できるように時間を設けている。	・サービス提供時間と重複しなければ、出来るだけ 複数で参加をすることで、職員の会議への経験を増や し、スキルアップに努めたい。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・学校からは体調、情緒、排泄時間、食事等の引継ぎはすると共に、緊急な場合にはご家族にも相談をさせて頂いている。 ・学校のホームページを確認したり、事業所独自でファイルを作成したりする事で、トラブルの未発生に繋がっている。	・トラブルの発生においては連絡体制を定期的に見 直すことで、対処できるように図りたい。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		・ご家族を通して主治医と連携をとったり、書類を頂いた上で、支援を行っている。	・ご家族が丁寧に受診などの様子を伝えてくださ る。今後ご家族の希望で受診同席が出た場合には同 席できるように体制を整える。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・児童発達支援事業所から情報提供書を頂いたり、相談支援専門員との連携を密にしたり、ご家族の希望があれば見学や会議を行っている。	・保護者の方の同意を元に、見学や情報提供書を通 して、スムーズな移行ができるように今後も取り組 んでいきたい。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・依頼や必要に応じて行っている。	・相談支援専門員やご家族の希望を確認しながら、 安心して次のサービスへ移行できるように事業所側 も準備をしていくようにする。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・会議等を通して、助言を頂いている。 ・機会があれば、連携していきたい。	・連携がとれる体制は整えている。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・地域の公園等で交流する機会を設けている。	・交流の機会はしていないが、今後も地域に外出した際 には職員を介して、交流することに取り組んでいき たい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		・今年度から働きかけて、参加できている。	・今後も協議会への参加をしていくように努める。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・気になる事があれば詳しく説明を行い、職員間では子どもさんだけでなく家族の様子も含めて共通理解に努める。 ・子どもさんの課題だけではなく、些細な事も褒めて成長を共に喜び合う事を心がけている。	・今後も一人一人の保護者の方と共にその日の状況 や今後の課題を共通理解できるように関係を深めて いきたい。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		・面談や相談を通して、個別にそれぞれの家庭に対して伝えるようにしている。	・保護者や子どもさんの特性やご家族の状況にあ った対応力を伝えていけるように職員で取りくんで いく。
保 護 者 へ の 説 明	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧に説明を行っている	○		・契約時より内容を説明している。 ・その都度書面や口頭等丁寧に説明を行う。	・詳細をみながら、今後も丁寧に説明を行って いく。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・相談に対して適切な助言を行えるように取り組んでいる。 ・電話や面談等状況に応じて支援している。	・相談頂いた内容や保護者の方の気持ちに今後も寄 り添いながら、共に成長を支えていけるようにして いきたい。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・情報交換会への出席の有無はそれぞれのご家族の希望に合わせて配慮し、無理のないようにする。	・希望される方への情報交換会を予定しているが、 感染症が流行した事で実施できていない。時期を みて実施する予定。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・すぐに対応をし、今後どのようにしていくかを伝え、安心して頂けるようにする。 ・自己判断はせずに迅速に報告・相談をし、対応するようにしている。	・今後も一つ一つ教えて頂いた苦情を受け止めて、 問題解決に努めていく。また、日常から苦情を言 いやすい関係性を築いていけるようにしている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
明責任等	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・活動概要は月1度、会報(広報誌)は年に3回発行し、行事や活動経過を発信するようにしている。	・広報誌や活動内容等発信している。今後も更に子どもや保護者の方の興味が持てるように工夫すると共に読み手が変わるので、合った内容を発信する。
	35 個人情報に十分注意している	○		・書類や掲示物含め情報は留意をしている。	・外部からの見学者等の際も留意を怠らないようにしているが、気を引き締めて取り組みたい。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・それぞれの特性に合わせて、視覚的な支援(写真や文字、絵カード)を使用している。 ・保護者の方においては面談や電話、メール、文書等選んで頂きながら意思疎通ができるように工夫している。	・送迎時の伝達等、それぞれのご家族からの意思疎通の方法を念頭に置いて取り組む事を忘れないようにする。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・地域のお店には買い物に行くが、招待をすることはしていない。法人として考えていく必要有。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		・文章で伝達をするようにしている。 ・マニュアルは職員間で話し合いをしている。	・全保護者に対して周知して頂けるように工夫する必要がある。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・法人全体で年に2回実施するのは別に、事業所だけで、別に訓練を行っている。 ・避難所での非常食となる物をおやつとして提供する機会も設けている。	・保護者への周知の仕方を検討していく。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・チェックリストで年2回行い、その後会議等具体的に考えて行っている。	・何が虐待に当たるのかを職員全体で考える機会を積極的に取り入れる。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		・説明をした上で、同意書を頂くようにしている。 ・やむを得ずあった場合は記録に残すようにしている。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・指示書はないが、保護者からの依頼に基づいて職員間で共有し、食物については職員間で周知・共有できるようにしている。	・医師の指示書はないが、家族からの情報提供がある。状況に応じて指示書を頂くように働きかける準備はある。 ・また契約時に食べた事もない物等も確認しておく。(給食提供がある為)
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハットが起きた場合は、事例を記載し、日々のミーティングですぐに共有するようにし、再発防止に取り組んでいる。	